



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2020-2021年度 第19週報 No. 2129 2020年(令和2年)12月4日 第2129回 例会記録 12月11日発行

本日〈12月11日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「我等の生業」
- ◆ 献立 週替わり弁当
- ◆ 卓話 「消費者起点のマーケティングカンパニーに向けた大改革」
ピップ(株) 取締役 久保田達之助 様
(紹介者 馬場 佳子 会員)



写真提供 小池 将夫

司 会 友添 辰哉 副幹事

点 鐘 山本 芳弘 会長

斉 唱 「君が代」 「奉仕の理想」

四つのテスト 西山 潔 職業奉仕委員
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 森山 由紀 様(ゲストスピーカー)
グエン・バン・ドゥク 様(米山奨学生)

年次総会

クラブ細則第1条及び第5条の規定に基づき、年次総会が開催され、次年度理事・役員が出席会員全員の賛同により、承認された。

理事・役員

会 長	小山 市康
直 前 会 長	山本 芳弘
会長エレクト	赤堀 和人
副 会 長	横溝 亘
副 会 長	加藤 仁昭
幹 事	友添 辰哉
会 計	白井 康夫

理 事

職業奉仕委員長	森永 健
社会奉仕委員長	岡部雄一郎
国際奉仕委員長	金森 欣一
青少年奉仕委員長	中野 真理
戦略計画委員長	山田 正憲

2020-2021年度 R I 会長 ホルガー・クナーク



ロータリーは機会の扉を開く

第2590地区 ガバナー 吉田 隆男

会 長	山本 芳弘	会 計	白井 康夫
会長エレクト	小 山 市 康	副 会 計	渡 邊 淳
副 会 長	赤 堀 和 人	S A A	佐 藤 勝 彦
副 会 長	植 田 清 司	副 S A A	古 澤 一 憲
幹 事	田 口 健 太 郎	副 S A A	月 山 勇
副 幹 事	友 添 辰 哉	クラブ会報	池 田 広 樹

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
 TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

特別行事

◎米山奨学金贈呈



米山奨学生 グエン・バン・ドゥク 様

皆さん、こんにちは！

先々週、大阪に行って来ました。帰ってから、自宅で隔離していました。今日でちょうど2週間になり、元気に例会に参りました。

大阪に行ったのは今回初めてです。新幹線に乗ったことも初めてだったので、色々勉強になりました。関東と関西の違いはニュースでよく聞いていましたが、今回、実際に体験出来て、本当に楽しい旅でした。

来年の目標は沖縄に行って、沖縄での生活や沖縄の文化を調べたいと思います。引き続き、よろしくお願致します。

下の写真は大阪で人気がある幸運の神様・ビリケンです。



紅葉に映える箱根ロープウェイ。

芦ノ湖の湖尻、桃源台駅と箱根町の早雲山駅を結ぶ4kmのロープウェイです。

途中、迫力ある地獄谷や雄大な富士山を望むことが出来ます。

是非、お出掛けを・・・。

【写真提供 小池 将夫 会員】



会長報告

山本 芳弘 会長

- ・本日、例会前に第2テーブルミーティングを開催致しました。『スクール形式でも例会は続けてほしい』との声が多数ありました。

幹事報告

田口健太郎 幹事

- ・12月のロータリーレートは\$1=105円です。
- ・次週、例会終了後に12月度定例理事会を開催致します。

誕生日祝

鴻 義久 会員 (12月5日)

加藤 仁昭 会員 (12月10日)



委員会報告

雑誌委員会 委員長 北村 大輔

12月の「ロータリーの友」は、ホルガー・クナークRI会長のメッセージに、テキサス州のEクラブに所属しているリーザ・ラーソンさんのオンラインでのプロジェクトや、ナイジェリアのブレッシング・マイケルさんのお話で、対面とオンラインのハイブリット型での例会で世界中から卓話者を招き卓話をしてもらうことで例会の出席率も高まり、My Rotary にオンライン例会を登録することで世界中のクラブと交流が生まれ、RI会長が登壇した合同例会には300人以上の訪問者が出席し、訪問者がブレッシング・マイケルさんのクラブのプロジェクトに寄付をしてくれたため、資金も以前より集まり多くの新しい友との出会いがあり最高の年になったようです。RI会長も今後のロータリーにますます期待が高まると、このお二人のお話を紹介しています。

横組み7ページ、世界のクラブの例会は今のように行っているかということで、イギリス・インド・ドイツ・アメリカ・ブラジルの例会の状況などが掲載されております。

横組み12ページ、11月号から引き続き、新型コロナウイルス感染症が、国内のロータリークラブの活動に与えた影響についてのアンケートが掲載されています。会員数の増減、会員維持(退会防止)のための工夫、新型コロナ関連の奉仕活動について掲載され、中でも14ページの頭に八王子東RCの山本武司さんの投稿が載ってまして、日本ではコロナで10クラブ2,919人

の会員減少、世界では32,362人減少と、とても考えさせられる記事が載っております。

横組み22ページ、2021年ロータリー国際大会の開催地台湾の歴史や文化などが掲載されております。

縦組み13ページの卓話の泉には、宝くじの当選確認はこまめにとという題目で、みずほ銀行の関根秀昭様の卓話が掲載されています。支払開始日から1年を経過すると時効になり、2018年に時効になった当選金は127億円もあったそうです。まだ当選確認をしていない宝くじがあるかもしれません。皆さん、今日家に帰ったら確認してみてください。

12月は「疾病予防と治療月間」です。皆さん、検査などに行き体調管理をおこたらず、新年を健康な状態で迎えてください。

会員増強委員会 委員長 加野 亮一

前回会員増強委員会が開催された時、“今年の年賀状を持ち寄り、入会候補者にアプローチした”と聞きました。そこで今回、馬場会員・石井会員・私で年賀状を持ち寄り、候補者を選出して案内を送ることにしました。その案内文も作成しましたので、ご協力頂ける方は私に教えて下さい。案内文をお渡しします。よろしくお願ひします。ちなみに私は10名に送ります。

スマイルボックス 佐藤 勝彦 SAA

鴻 義久君 誕生日祝い、ありがとうございます。12月10日で71歳！

加藤仁昭君 誕生日のお祝い、ありがとうございます。

山本芳弘君 ①本日のテーブルミーティング、北村さん、田中さん、ありがとうございます。②本日の卓話、横浜メディカルグループ 森山様、よろしくお願い致します。

石川正三君 『高齢者のトラベル自粛』要請の中、遙々東京から旅して来ました。

月山 勇君 ①第2 TM 北村・田中両正副マスター、お疲れ様でした。大変有意義なミーティングでした。

山本 登君 当Groupの森山がお話致します。よろしく。

伊東英紀君 寒くなりました。皆様、コロナ気を付けて。

山田正憲君 本日の第2テーブルミーティング、例会後と勘違いしていました。ごめんなさい。

植田清司君 本日のテーブルミーティング、テーブルマスターの北村さん、副マスターの田中さん、お疲れ様でした。有意義なミーティングでした。

天野公史君 昨日のガバナー補佐連絡会ご出席の皆さん、お疲れ様でした。あと半年、頑張りましょう。吉田ガバナー、ご馳走様でした。

白鳥厚夫君 ①昨日のガバナー補佐連絡会出席の皆様、お疲れ様でした。②森山由紀様、本日の卓話、よろしくお願い致します。

岡部雄一郎君 森山様、本日の卓話、よろしくお願い致します。

加野亮一君 吉田ガバナー、昨夜はパニーガール、ご馳走様でした。(笑)

馬場佳子さん 森山様、本日の卓話、よろしくお願い致します。

北村大輔君 第2テーブルミーティングの皆様、本日は早い時間からお集まりいただき、ありがとうございました。

12月4日	15件	50,000円
本年度累計		972,770円
年度目標進捗状況		-2%

出席報告 横溝 亘 出席委員長

会員総数	52名	(32+20)名
出席会員数	45名	(27+18)名
出席率	90.00%	
ゲスト	2名	ビジター 0名
前回補正後	87.50%	前々回補正後 88.89%

新型コロナウイルスと生きる

～怖がりすぎない でもしっかり対策～

(一社) 横浜メディカルグループ YMG感染制御部
部長 森山 由紀 様
(紹介者 山本 登 会員)



現在流行している新型コロナウイルスは、私たちがこれまでに感染したことの無いウイルスです。そのため、私たちは新型コロナウイルスに対応する機能(免疫、抵抗力)を持っていません。このウイルスと共に生きるためには、新型コロナウイルスがどのように感染するのか(感染経路)、どうすれば感染を防ぐことができるのか(感染対策)を知り、生活に取り入れることが大切です。

新型コロナウイルスはヒトの上気道(鼻から喉のあたり)で増殖し、主に「飛沫(ひまつ)感染」と「接触感染」という感染経路で広がります。会話や咳、くしゃみをする時に口から唾液・痰などと共にウイルスが飛び出します。マスクを着用せずに会話や咳、くしゃみをした場合、1メートル程度の近い距離に居る人の口や鼻、目の粘膜にウイルスが付いて感染します。これが飛沫感染です。接触感染は、感染している人(感染者)や感染者の周囲にある物や共有した場所(環境)に触れた手で、自分自身の口・鼻・眼を触り、感染してしまう経路です。

飛沫感染を避けるためには、①マスク無しでの会話を避けること

②身体的距離を保つこと ③換気を行うこと、が推奨されています。①が推奨される理由は、新型コロナウイルス感染では、感染しても症状の出ない人（無症状病原体保有者）がおり、この無症状病原体保有者からも新型コロナウイルスは感染するということが解っています。しかし、症状が無いため本人を含め、誰がウイルスを持っているかがわかりません。そのため、症状の有無に関わらずマスクを着用して人と接する、会話をするのが重要と考えられています。②の理由は、口から飛び出す唾液などは1～2メートルで落下します。人と人の距離が離れていれば、飛んでくる飛沫や感染者や感染者が使用した物や環境との接触を避けることができるためです。③の換気は、空気中にいるかもしれないウイルスを気流にのせて排出し、ウイルスの量を少なくして、その場にいる人の感染リスクを下げるために行います。

接触感染の予防には、④手洗いや手指消毒 ⑤拭き掃除、などを行います。何かに触れたら手をきれいにし、自分が良く触れる場所や多くの人が触る場所をこまめに拭きとることがウイルスを取り除き、ウイルスとの接触頻度を下げることにつながります。

外出・外食する際や家庭内でも「飛沫感染」「接触感染」を防ぐ上記5つの行動を取り入れ、感染を防ぎ、症状が出たときには我慢せずに医療機関や相談窓口にご相談することも大切です。無理せず、そして怖がりすぎず、正しく感染対策を行いながら過ごしていただければと思っています。

ロータリーニュース

RI会長からのメッセージ

2020年12月

2020年を振り返ると、人びとの生活が大きく変わったことを思われます。新型コロナウイルスの全世界的パンデミックは多くの人びとに苦難をもたらしました。また、日常生活や家族との時間の過ごし方、働き方も変わりました。それでも、この試練の1年もようやく乗り越えられそうです。それは、自分だけの力ではなく、ロータリーがいつもそうしているように、お互いに手を差しのべあったからです。毎年1年が過ぎるごとに、私はロータリーを以前に増して誇りに思います。

ロータリーはパンデミックに際しても立ち止まりませんでした。私は、2020年を私たちにとって大きな変化の力になった年として記憶に留めようと思います。障害を取り除き、繋がる新しい方法を見つけだし、オンラインでのプロジェクトやバーチャル形式の募金活動など、新しいやり方の奉仕活動を積極的に採りいれました。今年ロータリーが以前にも増して強固になったことを物語るストーリーを、ふたりのロータリアンに話してもらいましょう。

「パンデミックで活動自粛になった時、私たちの新しいEクラブはすでに国際的にもオンラインで奉仕活動を行っていました。私は複数のロータリークラブに所属する14名の米国人女性と一緒に、WhatsAppを使ってコスタリカの農村に暮らす女性の起業家たちにメンタリングを行い、彼女たちのエコツーリズム事業、RETUS Tours [5月号の特集記事、“Nature & Nurture”]を成長させ

る方法を授けました。このプロジェクトは拡大し、今では30名のロータリアンがコンサルティングを行い、RETUSのウェブサイトやSNS運用を手伝っています。何より大事なことは、彼女たちとの絆を深め、自分の人生を変える後押しを続けてきたことで、しかもそれをオンラインで行っているのです。私はそのうちのひとり、ロサさんが国際的なオンライン・カンファレンスで英語のプレゼンを行うのを手伝いました。コスタリカの女性たちとの取りくみにはまだ実地での活動が必要な部分もありますが、変革的な最大の変化は、対面ではなくても実現することができたのです。」—リーザ・ラーソン、ロータリーEクラブ・エンゲージ、プラノイスト・ロータリークラブ（テキサス州）

「新型コロナウイルスの流行が始まった時、私はクラブ会長を務めていましたが、会員の多くがまだZoomは使っていませんでした。パンデミックにより初めてZoomで行った例会では、53名の会員のうち参加したのは10名だけでした。そこで私は手を差し伸べて、世界中からゲストスピーカーを招き、うちの会員に話してもらうのはどうだろうかと考えました。多くのロータリーリーダーやロータリー平和フェロー、さらにはホルガー・クナークRI会長までバーチャルでクラブ例会を訪れ、話してくれました。例会の出席率が高まる一方で、食事がなくなったため運営費は削減できました。勤務地が遠く例会に出られなかった会員たちも、ふたたび参加してくれるようになりました。My ROTARYにオンライン例会を登録することで、世界中のクラブと交流が生まれ、ホルガー会長が登壇した合同会合には300人以上の訪問者が出席しました。また、会員や訪問者がうちのプロジェクトに寄付してくれたため、資金も以前より集まりました。全員にとって柔軟なクラブであり続けるために、今では対面とオンラインのハイブリット型で例会を行っています。私にとって、2020年は多くの新しい友との出会いがあり、ロータリーに入会して以来最高の年となりました。」—ブレッシング・マイケル、ポートハーコートノース・ロータリークラブ（ナイジェリア）

こういったお話を伺うと、今後のロータリーにますます期待が高まります。ロータリーはパンデミックを乗り越えているどころか、この危機にますます力を得ているのです。ロータリーの底力というものを、私たちは今年見せつけられました。たとえパンデミックの最中でも、ロータリーが機会の扉を開き、成長し、人と人をつなげ、会員と地域社会に働きかける姿を、私たちは目の当たりにしました。

ラッツェブルクの自宅から、スザンヌとともに皆さんとご家族にクリスマスのご挨拶を送ります。よいことをもたらしてくれる2021年が待ちきれません。

ホルガー・クナーク
2020-21年度会長

次回〈12月18日〉の予定

「漫才」

漫才コンビ オキシジェン
(紹介者 山本 芳弘 会員)